



2026年8月10日

各位

会社名 ケミプロ化成株式会社
 代表者名 代表取締役社長 兼 俊 寿 志
 (コード: 4960 東証スタンダード)
 問合せ先 取締役 社長室長 山 瀬 直
 (TEL: 078-393-2535)

2027年3月期 通期業績予想および配当予想に関するお知らせ

当社は、未定としておりました2027年3月期通期業績予想および配当予想について、本日開催の取締役会において、以下のとおり、決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 2027年3月期通期業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)の公表

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	10,500	350	250	160	9.93
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2026年3月期)	8,946	341	128	294	18.30

2. 2027年3月期配当予想の公表

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想	—	—	—
今回発表予想	0円00銭	3円00銭	3円00銭
(ご参考) 前期実績 (2026年3月期)	0円00銭	5円00銭	5円00銭

3. 公表の理由および業績予想、配当予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2027年3月期の業績につきまして、適正かつ合理的な数値の算出が困難であることから未定としておりましたが、最近の事業環境および業績動向などを踏まえ、通期業績予想を公表いたします。

世界経済は、ホルムズ海峡封鎖の解除が合意され、各国経済政策や企業の対応などについても一定の落ち着きがみられてきています。しかしながら、アメリカによるイランへの軍事行動は続いており、依然として、予断を許さない状況が続き、先行き不透明感の払拭にはいたっておりません。このような状況下、当社を取り巻く事業環境も同様に厳しく、今後の業績に大きく影響を及ぼす可能性があるものの、当第1四半期累計期間の業績は、前年同四半期に対して、増収増益基調で推移しました。また、直近の需要動向についても、ホルムズ海峡封鎖による甚大な影響は見られておらず、今後についても、先行発注分の反動減などの影響は予想されるものの、徐々に需要面での不安なども解消されるものと想定しています。加えて、年度後半にかけ、主力製品をはじめとする

各種製品について、販売強化を推進して参ります。一方、利益面については、引き続き各種コストの低減に努め、価格転嫁の取り組みも進めるものの、製品価格は、早期に値戻しの動きに移行する一方、高騰した原材料価格は、当面、高止まりが続くことが予想され、収益を圧迫すると思われます。

これらを踏まえ、2027年3月期通期業績については、売上高 10,500 百万円、営業利益 350 百万円、経常利益 250 百万円、当期純利益 160 百万円となる予想であります。

また、配当予想につきましても、経営環境、業績、将来の事業展開等を総合的に勘案した上で、財務体質強化を図りつつ、安定的かつ継続的に配当を行う基本方針を堅持し、年間配当金を1株あたり3円といたしました。

本配当による配当性向予想は、30%となる見込みです。

なお、本予想は、特に、年度後半にかけ、直近のホルムズ海峡封鎖の影響が払拭され、経済活動自体が正常化することを前提としております。また、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき策定したものであり、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。引き続き慎重に業績の進捗を判断し、適時に見直して参る計画であります。予想の修正を決定した場合には速やかに開示いたします。

以 上